

訂 正

世界史

記 号 (R)

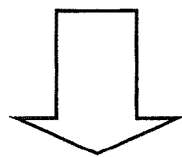
下枠の内容を一字一句正しく板書してください。
板書した訂正内容に誤りがないかを必ず複数の監督者で
照合してください。

<訂 正>

「世界史」

3 ページ 下 から 8 行目

(誤) 明朝滅亡後に成立した清朝も, …



(正) 清朝も, …

以 上

〔 I 〕 次の文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

古代ギリシアとローマの時代には、大きな戦いがいくつもあった。紀元前 500 年から前 449 年まで続いたペルシア戦争もその一つである。ギリシアは、前 5 世紀に陸上での勝利に加えて、海上でも(1)の指導のもとで大勝を得た。ペルシア戦争に勝利したのち、アテネは(2)の指導のもとで民主政を確立したとされる。

ローマ世界では、ローマとカルタゴとの間で前 264 年から前 146 年まで戦われたポエニ戦争があげられる。イタリアまで侵入しローマを苦しめたのは(3)という将軍であった。ローマは、(4)の活躍もあって戦局を挽回することに成功した。

ローマに先立つ大帝国を築いた者に、大王と呼ばれる(5)がいる。その父(6)は(7)の戦いでテーベとアテネの連合軍に勝利していた。さらに(5)は東方遠征を始め、ペルシアを打倒し、インド西北部まで軍をすすめた。彼の帝国はすぐに分裂したものの、約 300 年にわたって続くことになる独自の時代を作り上げることになった。

ローマは、前 31 年に起こった(8)の海戦に勝利し、エジプトをローマの属州とした。そして前 27 年にローマは帝政となった。五賢帝の時代にローマは最盛期を迎え、(9)帝の時代に領土が最大となった。さらに 212 年の(10)帝の治世時には帝国の全自由民に市民権が与えられ、文字通りの世界帝国になった。

〔語群〕

- | | | |
|----------------|--------------|-------------|
| (ア) カエサル | (イ) ペイシストラトス | (ウ) スパルタクス |
| (エ) アンティゴノス | (オ) アレクサンドロス | (カ) アクティウム |
| (キ) ネルウァ | (ク) オクタウィアヌス | (ケ) ペリクレス |
| (コ) カイロネイア | (サ) リウィウス | (シ) ポンペイウス |
| (ス) デイオクレティアヌス | | (セ) テミストクレス |
| (ソ) プラタイア | (タ) トリボニアヌス | (チ) スキピオ |
| (ツ) フィリッポス2世 | (テ) ウェルギリウス | (ト) サラミス |
| (ナ) クレイステネス | (ニ) マラトン | (ヌ) ダレイオス3世 |
| (ネ) トラヤヌス | (ノ) カラカラ | (ハ) ハンニバル |

〔Ⅱ〕 次の文の(1)～(6)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。また、問1～4に答えなさい。

中国・清代の曹雪芹^{そうせつきん}によって書かれた『紅樓夢』は明代の『三国志演義』・『水滸伝』・『(1)』・『金瓶梅』などの「四大奇書」^①とともに、口語で書かれた長編小説として知られる。

『紅樓夢』に以下のようなシーンがある。

劉婆^{りゅうばあ}さんは心の中で「これはいったい何と言うおもちゃだろう。いったい何に使うんだろう」と思った。ぼんやりと考えているとき、ゴーンという音がした。それは鐘^{かね}か磬^{けい}(平らな石片を鳴らす楽器)のようで、ビクッと驚いて目を見張ると、つづけざまに8, 9回音が鳴った。

これは「自鳴鐘^{じめいしょう}」と呼ばれる機械時計が鳴っているシーンであり、18世紀の『紅樓夢』はこのように近代ヨーロッパの文化・文物を描いている点で、明代の小説とは異なる。

機械時計「自鳴鐘」は、17世紀に(2)宣教師マテオ=リッチが明の万暦帝に献上したものである。この時、リッチは北京での居住を許され、キリスト教布教につとめた。これ以後多くの(2)宣教師が渡来した。^②リッチはキリスト教布教にヨーロッパ科学の紹介が必要だと考え、後続の宣教師にはすぐれた科学知識の持ち主が多かった。^③

明朝滅亡後に成立した清朝も、(2)宣教師を技術者として重用した。暦の改定を行ったアダム=シャル(湯若望)や、中国全図の(3)の作製に協力したブーヴェ(白進)、ヨーロッパの画法を紹介したり、北京の皇帝の離宮である(4)の設計に加わったりしたカステイリオーネ(郎世寧)などがいる。

清朝が中国全土を統一したあと、17世紀の末まで(2)宣教師は、布教にあたって中国文化を否定せず容認する方針をとっていた。しかし、これに反対する他の会派の宣教師がローマ教皇に訴え、1704年、ローマ教皇は(2)の方式を異端として否定した。このような中国文化否定の方針に激怒した清朝皇帝の

(5)はキリスト教布教に制限をかけ、次の皇帝の(6)の時期に布教自体が禁止となった。満洲族の皇帝たちはこのようにキリスト教布教を規制したが、また、反満・反清的な活動も厳しく弾圧した。

④

〔語群〕

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| (ア) 西遊記 | (イ) 琵琶記 | (ウ) 西廂記 |
| (エ) イエズス会 | (オ) イギリス国教会 | (カ) フランチェスコ修道会 |
| (キ) 坤輿万国全図 | (ク) 皇輿全覧図 | (ケ) 清明上河図 |
| (コ) 円明園 | (サ) 景福宮 | (シ) 避暑山荘 |
| (ス) 康熙帝 | (セ) 順治帝 | (ソ) 雍正帝 |
| (タ) 洪武帝 | | |

問1 下線部①に関連して、明代の文化について述べた次の文(ア)~(エ)のうち、最も適当なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 木版印刷が始まったが、その普及は一部にとどまった。
- (イ) 景德鎮では赤絵や染付が生産された。
- (ウ) 朱熹が大成した新しい儒学は、経書のうち、五経を重んじた。
- (エ) 儒教の古典などを厳密に校訂・検証する考証学が生まれた。

問2 下線部②について清代中国におけるキリスト教に関連して述べた次の文(ア)

～(エ)のうち、最も適当なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 宣教師たちによって儒教など中国文物がヨーロッパに紹介された。
- (イ) キリスト教を監視するため、中央に理藩院を置いた。
- (ウ) 1842年の南京条約で、キリスト教布教の自由が認められた。
- (エ) 洪秀全は義和団という宗教結社をつくった。

問3 下線部③に関連してアジアへ渡来したキリスト教徒について述べた次の文

(ア)～(エ)のうち、誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) インノケンティウス4世は、モンゴル宮廷にプラノ=カルピニを派遣した。
- (イ) ルイ9世は、明朝にルブルックを派遣した。
- (ウ) マテオ=リッチは、徐光啓とともにエウクレイデスの幾何学を翻訳した。
- (エ) フランシスコ=ザビエルは、日本にキリスト教を伝えた。

問4 下線部④に関連し、清朝が行ったものとして誤っているものを次の(ア)～(エ)

から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 禁書をおこなって思想を統制した。
- (イ) 漢人を教化するため、6つの教訓(六諭)をはじめて定め公布した。
- (ウ) 白蓮教などの民間宗教を邪教としてきびしく弾圧した。
- (エ) 漢人男性に対し、辮髪を強制した。

〔Ⅲ〕 次の文の(1)～(8)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群Ⅰから、また、(9)～(15)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群Ⅱから選び、その記号をマークしなさい。

(1)音楽を大成させた音楽家のひとりであるヘンデルは、1685年に中部ドイツのハレで生まれた。18歳の頃にはハンブルクに出て、オペラの技法を学んだ。ハンブルクは中世から近世にかけて、(2)を盟主とする(3)同盟の一員としてヨーロッパの交易で重要な役割を果たした。その後、ヘンデルはハンブルクからイタリアに渡った。

イタリア・オペラの技法を身につけたヘンデルは、1710年、(4)の宮廷楽長として招かれる。1714年、(4)選帝侯がイギリス王(5)となったあとは、イギリス王室の音楽家となるが、この地位は形式的なもので、自由な立場で作曲活動を行った。(5)治世下のイギリスでは、(6)党のウォルポールが首相となり、のちに責任内閣制が形成されている。

1737年にヘンデルは卒中の発作で倒れるが、同年末に奇跡的な回復を遂げ、オラトリオの名曲を次々に発表する。今日でも人気の高い「メサイア」や「サムソン」などが、その代表作である。サムソンは旧約聖書の登場人物であり、しばしば芸術作品の主題としてとりあげられてきた。イギリスでは『失樂園』などのピューリタン文学で知られる(7)が『闘士サムソン』を著わしている。1759年まで生きたヘンデルは、イギリスも参加したオーストリア継承戦争の時代も体験している。この戦争でイギリスは(8)を援助した。

〔語群Ⅰ〕(1)～(8)

- | | | |
|---------------------|--------------|------------------|
| (ア) 古典派 | (イ) ハンザ | (ウ) ロマン主義 |
| (エ) トーリ | (オ) ウィリアム3世 | (カ) カルマル |
| (キ) ハノーヴァー | (ク) バンヤン | (ケ) アントウエルペン |
| (コ) リューベック | (サ) ロンバルディア | (シ) ミルトン |
| (ス) ホイッグ | (セ) スウィフト | (ソ) ヨーゼフ2世 |
| (タ) 保守 | (チ) マインツ | (ツ) バロック |
| (テ) ジェームズ2世 | (ト) シュマルカルデン | (ナ) マリア=テレジア |
| (ニ) シェークスピア | (ヌ) ジョージ1世 | (ネ) フリードリヒ2世(大王) |
| (ノ) フリードリヒ=ヴィルヘルム1世 | | |

ヘンデルが国際的に活躍したのとは対照的に、ドイツから出ることなく活動したのがバッハである。バッハが生まれたのも、ヘンデルと同じ1685年のことである。この年にナントの王令を廃止し、(9)派の商工業者の大量亡命を引き起こしたフランス王(10)は、侵略戦争をたびたび起こしたが、1688年から97年まで続いた(11)戦争(アウクスブルク同盟戦争)は、その一つである。

1708年に(12)の宮廷にオルガン奏者として採用されたバッハは、オルガンの名曲を次々に作曲した。この(12)で1919年に開かれた国民議会では、(13)のエーベルトがドイツの大統領に選出されている。

16世紀前半ドイツの(14)選帝侯は、福音信仰を説く(15)を保護するなど、宗教改革の展開に大きな役割を演じた。(15)の教えはドイツの各地に広まった。1723年にライプツィヒの(15)派教会である聖トーマス教会のカントルに就任したバッハは、市中の教会音楽の責任者として数多くの教会音楽の作曲・演奏に尽力した。

〔語群Ⅱ〕(9)～(15)

- | | | |
|----------------|-------------|-------------|
| (ア) トリエント | (イ) ルイ 13 世 | (ウ) ツヴェイングリ |
| (エ) フランクフルト | (オ) ルター | (カ) ルイ 15 世 |
| (キ) オランダ | (ク) ザクセン | (ケ) トリーア |
| (コ) ヴァイマル | (サ) カルヴァン | (シ) ファルツ |
| (ス) 共産党 | (セ) 社会民主党 | (ソ) アンリ 4 世 |
| (タ) カトリック | (チ) ルイ 14 世 | (ツ) ダンツイヒ |
| (テ) ブランデンブルク | (ト) カタリ | (ナ) ナチ党 |
| (ニ) 南ネーデルラント継承 | | |

〔Ⅳ〕 次の文の(1)～(11)に入れるのに最も適当な語句を{ }内の(ア)～(ウ)から選び、その記号をマークしなさい。また、問1～4に答えなさい。

19世紀以降、東アジア諸国は世界各国と近代的な条約を結ぶが、これらの条約は、締結された地名で呼びならわされることが多い。なかには[A]のように、いくつもの条約が締結され、複数の条約の通称となっている地名もある。

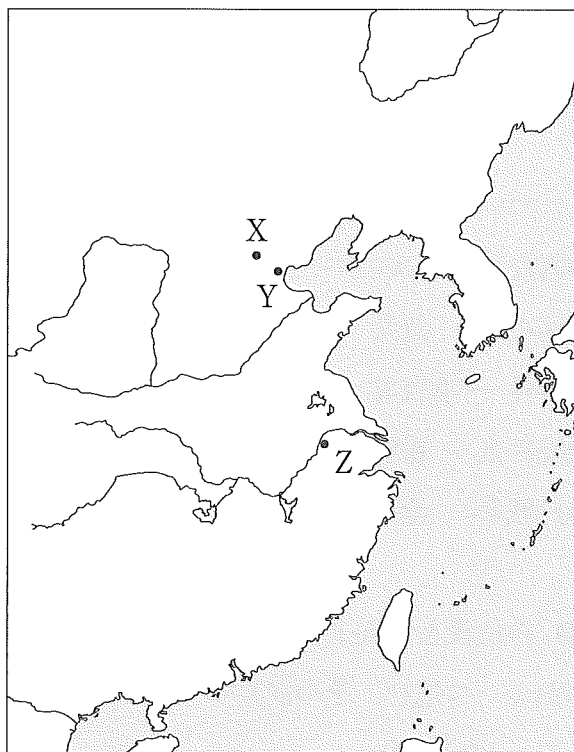
1858年に締結された[A]条約は、1856年に起こった第2次アヘン戦争(アロー戦争)に関し、清が諸外国と締結したものである。これに先立ち、1840年に起こったアヘン戦争^①を終結させるために清とイギリスが結んだ南京条約では、(1){(ア) 上海 (イ) 北京 (ウ) 大連}など5都市の開港と自由貿易の実施、(2){(ア) 台湾(島) (イ) 山東半島 (ウ) 香港(島)}の割譲、賠償金の支払いなどが定められたが、[A]条約とこれを補強する[B]条約においては、開港場の増加、外国人の内地旅行権、賠償金額などが定められた。西欧諸国との外交の重要性を認識した清は、[B]条約締結の翌年、伝統的な方式^②とは区別した外交事務を担当する(3){(ア) 総理各国事務衙門 (イ) 外務部 (ウ) 軍機処}を新設した。

1885年4月に締結された[A]条約は、(4){(ア) 甲午改革 (イ) 甲申政変 (ウ) 壬午軍乱}の事後処理のためのものである。19世紀後半の朝鮮においては、第26代国王の父である(5){(ア) 高宗 (イ) 大院君 (ウ) 朴泳孝}が鎖国政策を強く押し進めたが、(5)の退陣後、日本は武力を背景にして(6){(ア) 1871 (イ) 1874 (ウ) 1876}年に日朝修好条規を締結した。その後、朝鮮では清からの自主独立をめざす急進開化派と清との協調関係を模索する穏健開化派とが対立し、1884年に(7){(ア) 金玉均 (イ) 康有為 (ウ) 林則徐}らが日本軍の協力を得てクーデタを起こしたが、清軍の介入によって失敗した。この(4)を機に、清と日本は[A]条約において共同撤兵と出兵の相互事前通告などを定めたが、両国に対する朝鮮の人々の反感や、内政における収奪や政治腐敗への不満が増大し、1894年、(8){(ア) 西学 (イ) 朱子学 (ウ) 東学}による農民蜂起^③が起こった。朝鮮政府の要請を受けて清が派兵すると、日本も居留民保護などを名目に出兵し、日清戦争が勃発した。この戦争は日本側の勝利に終わ

り、清は(9){(ア) 黄埔 (イ) 下関 (ウ) 望厦}条約において、朝鮮に対する宗主権を放棄した。

1859年6月に結ばれた[A]条約は、清仏戦争の講和条約である。19世紀の後半、フランスはベトナム南部を直轄領とし、さらに阮朝を保護国としたが、これに対し、清はベトナムの宗主権を主張して軍を派遣し、清とベトナムの国境付近でフランス軍と衝突し、清仏戦争が起こった。清軍は善戦したが、最終的には講和に応じ、清はベトナムに対する宗主権を放棄してフランスの保護権を認めた。フランスは1887年にベトナムと(10){(ア) ミャンマー (イ) カンボジア (ウ) ラオス}をあわせてフランス領インドシナ連邦を形成し、(11){(ア) プノンペン (イ) サイゴン (ウ) ハノイ}に総督府をおいた。

【地図】



問1 下線部①について、諸外国の組み合わせのうち、最も適当なものを次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) イギリス フランス アメリカ ロシア
- (イ) イギリス フランス ドイツ アメリカ
- (ウ) イギリス ドイツ アメリカ ロシア
- (エ) イギリス フランス ドイツ ロシア

問2 下線部②に関連し、中国歴代王朝の対外政策を説明したものとして最も適当なものを次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 漢は服属した諸民族に対し羈縻政策を行った。
- (イ) 唐は周辺諸国の首長に爵位や官位を与えて臣従・朝貢させた。
- (ウ) 宋は海禁政策をとって私貿易を取り締まった。
- (エ) 元は広州一港のみ開き、貿易を許した。

問3 下線部③について、この農民蜂起と蜂起を主導した人物の組み合わせのうち、最も適当なものを次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 太平天国の乱 — 黄巢
- (イ) 義和団事件 — 李自成
- (ウ) 白蓮教徒の乱 — 崔濟愚
- (エ) 甲午農民戦争 — 全瑋準

問4 [A]、[B]の位置と地図上の記号の組み合わせのうち、最も適当なものを次の(ア)～(エ)から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) [A] = X [B] = Y
- (イ) [A] = X [B] = Z
- (ウ) [A] = Y [B] = X
- (エ) [A] = Z [B] = X

(以上)